



身に覚えのない明細

があったら **あなた** は
どう対応しますか？



身に覚えのない明細を発見すると、誰しも焦ってしまいます。
今回は、身に覚えのない明細を見つけたときの**対応方法**をご案内します。

身に覚えのない明細があった ときの対応方法

利用日・利用店名・金額の内容確認

ご利用日・店名・金額は利用先によって表記が異なるケースがあります。家族の利用でないかも併せて確認しましょう。



利用先への問い合わせ

明細内容を伝えて詳細情報を確認しましょう

お問い合わせの多いご利用先

1. AMAZON

ご注文単位（合計金額）や**商品ごと**に請求される場合、または**プライム会費**による請求の可能性があります。

2. APPLE COM BILL

アプリ購入やゲーム内課金、Appleサービス利用料（App Store・iTunes等）の可能性があります。

3. 各種サブスクリプション

無料体験登録後、**継続課金へ移行している可能性**があります。

**不正利用として申請をする前に、
利用先へお問い合わせをお願いします。**

特に弊社へお問い合わせの多い利用先はこちら >



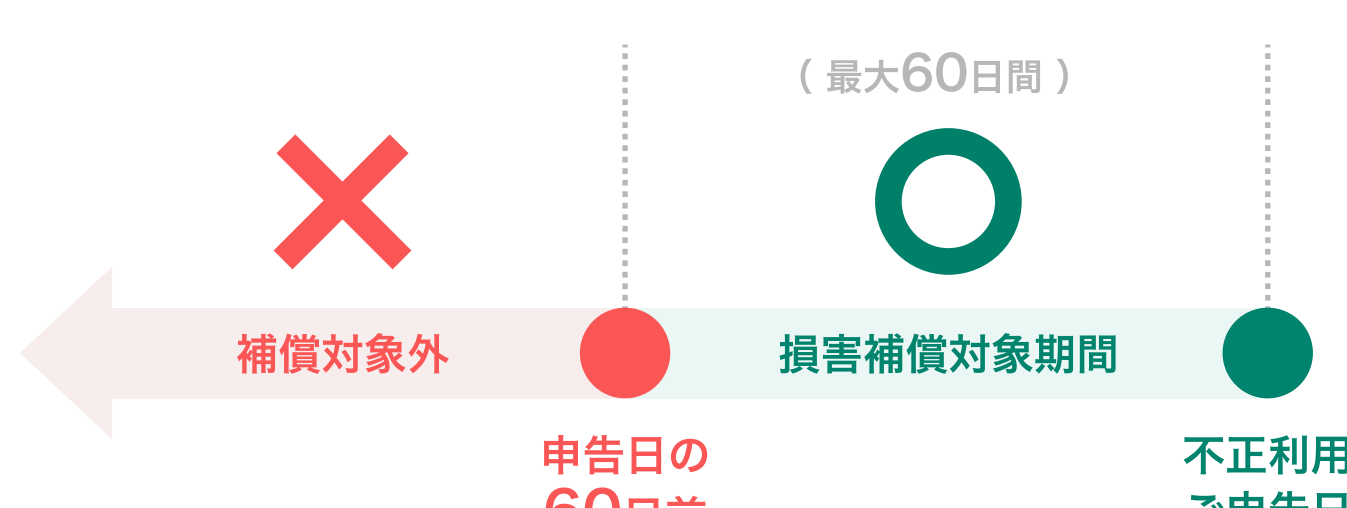
カード会社へ不正利用の申請

上記でも解決しない場合、弊社へWEBからお問い合わせください。

明細に記載のあるご利用分のみ申請いただけます。また、明細に記載のない場合は反映までお待ちください。

不正利用のご申告をいただいた日から遡って**60日前までの利用について損害を補償**します。

※ 該当カードの停止（無効化）が必要です。



VpassIDの方はWEBよりお問い合わせください。

お問い合わせはこちら >



セキュリティ通信編集部員より

最後までお読みいただきありがとうございます。

身に覚えのない明細を見つけた時こそ、冷静に落ち着いて行動することが大切です。

不正利用として申請する前にご自身の利用ではないか、ご利用先への確認も併せてお願いいたします。